

Monthly Note

2021年11月号 Vol.177

一般財団法人 全国勤労者福祉・共済振興協会

発行人：神津 里季生

編集責任者：柳下 伸

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-11-17 ラウンドクロス新宿 5 階
TEL 03-5333-5126 (代表) FAX 03-5351-0421
<https://www.zenrosaikyokai.or.jp/>シンポジウム・研究会等
各種共済保険
(営業時間 土・日、祝日を除く月～金曜日 9:00～17:15)TEL 03-5333-5127 (調査研究部)
TEL 03-5333-5128 (共済保険部)

CONTENTS

- シンポジウムの動画を一般公開します
『壁を壊すケア「気につけあう街」をつくる』発刊記念 …………… P1
- 2019年度採用 公募委託調査研究の報告会を開催しました …… P2
- 自治体提携慶弔共済保険 2020年度優良戻しのご報告 …… P2

シンポジウムの動画を一般公開します 『壁を壊すケア「気につけあう街」をつくる』発刊記念

全労済協会では、2020年1月 から2021年1月まで「Better Life 研究会」を設置し、ケア（気につける）の考え方にもとづく地域づくりのあり方について議論を深めました。その研究成果書籍『壁を壊すケア「気につけあう街」をつくる』の発刊を記念し、シンポジウムを開催しました。シンポジウムの動画につきましては、2021年12月中旬から一般公開予定ですので、ぜひご視聴ください！！



シンポジウムは2部で構成されています。第1部では井手英策氏と渡辺真理氏にご登壇いただき、渡辺氏の介護の実体験を交えながら、成果書籍『壁を壊すケア「気につけあう街」をつくる』の出版意図をご紹介いただきました。第2部では若者、子育て、高齢者、障がい者に関わる社会課題に対応している実践家（「Better Life研究会」委員）を交えて「気につけあう街づくり」についてディスカッションしていただきました。

シンポジウム『壁を壊すケア 「気につけあう街」をつくる』

主催／全労済協会 共催／こくみん共済 coop、日本再共済連

- コーディネーター：井手 英策 氏（慶應義塾大学経済学部教授）
- パネリスト：石井 正宏 氏（NPO 法人パノラマ代表理事理事長）
馬場 拓也 氏（社会福祉法人愛川舜寿会常務理事）
名里 晴美 氏（社会福祉法人訪問の家理事長）
- 司 会：渡辺 真理 氏（アナウンサー）
- 配 信 方 法：当協会ホームページで一般公開
- 公 開 期 間：2021年12月中旬～2022年5月末まで期間限定でご視聴いただけます。
※公開期間は変更になる場合があります。

2019年度採用 公募委託調査研究の報告会を開催しました

当協会では、勤労者の福祉・生活に関する調査研究活動として、2005年度から「公募委託調査研究」を実施し、勤労者福祉に関する各種研究を公募しています。このたび2019年度の採用研究者の研究成果をまとめた報告書が完成し、10月22日にオンラインにて成果報告会を開催しました。当日は、多くの研究機関や協同組合などの関係諸団体から21名の方々にご参加いただきました。

【報告内容】

- 「協同組合の新たな役割としての外国人実習生監理」
岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授
大仲克俊氏（代表研究者）
- 「空き家等既存ストック活用による高齢社会に適した住環境マネジメントの実現可能性成果報告書」
福井大学学術研究院工学系部門 准教授
菊地吉信氏
- 「『8050問題』の高齢の親への支援に関する調査研究」
島根大学法文学部 教授 宮本恭子氏



■当研究の報告書のPDF版をホームページにも掲載しており、2冊まで無償で提供しています。

<https://www.zenrosaikyokai.or.jp/library/lib-invite/>

全労済協会 公募研究シリーズ

検索

自治体提携慶弔共済保険 2020年度優良戻しのご報告

「自治体提携慶弔共済保険」の2020年度優良戻し（※）として、2021年10月22日に各サービスセンター等へ以下の通りお支払いしました。

2020年度優良戻しについて

対象団体 152団体(実施団体数195団体)

優良戻し総額 208,863,226円

<参考> 2019年度は対象団体146団体、優良戻し総額205,834,295円でした。

※毎年5月末に決算をおこない、剰余があったサービスセンター等が対象となります。